

森林整備計画作成内容

回	項目（テーマ）	達成目標	講義内容	作業内容（WS/HW）
1	森林と自治 ・森林計画制度	森林行政について、市町村と県、国の関係を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林計画制度 ・国県との関係 ・森林組合論 	森林整備計画の全体構成（目次）及び目的などを作成する。
2	森林と自治 ・林業施策	市町村の戦略的森林施策を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の公益機能 ・公益機能の発揮 ・林業振興 ・森林施業共同化重点的実施地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の現状課題を分析(文章化) ・森林施策の基本方向を検討(文章化) ・基本施策を検討(文章化)
3	森林と自治 ・緑の総合政策 ・森林整備の基準	森林整備計画と市町村諸施策との関連及び森林整備の基準を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林施策の位置 ・森林整備の体系 ・間伐基準 ・伐採造林基準 ・森林の総合的利用、観光など 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の手順を検討(図、文章化) ・間伐、伐採、造林基準を整理(図、文章化) ・間伐など整備計画量の把握(森林基本図や表などにとりまとめ)・
4	自治の森林技術 ・天然林の植生	管内の天然林の状況について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の植生 ・管内の天然林植生 ・管内に生育する主な樹種 ・森林利用の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の植生概況を把握(文章化) ・課題を検討(文章化) カシナガキクイム被害など
5	市町村の森林技術 ・人工林	管内の人工林の状況について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人工林 ・管内の人工林 ・管内の林業主体 ・原木市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の人工林の状況を把握(文章化) ・間伐の実施状況など課題を把握(文章化) ・原木価格の推移(文章化)
6	自治の森林技術 ・計測	植生調査の考え方と調査の基本を理解する。 人工林経営の基本理論を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・植生調査法 ・収量比数と間伐 ・樹木測定法 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の植生概況の把握を見直し(文章の修正) ・間伐の課題把握の見直し(文章の修正) ・植生調査(現場実習) ・収量比数の把握、間伐木の選木(現場実習)
7	自治の森林技術 ・治山	管内の森林災害の実情を理解し、森林災害を抑制する方法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林災害の種類 ・災害の仕組み ・森林災害と植生 ・災害抑制工法 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の森林災害の状況を把握(文章化) ・森林災害抑制工の配置の考え方(文章化) ・森林災害(時)の対応検討(マニュアル化)
8	自治の森林技術 ・林道作業道	管内の林道と作業道の整備状況を理解する。 作業道整備の基本的な考え方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・林道の種類 ・林道基準等 ・作業道整備の方法 ・作業道と林業機械 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の林道、作業道の敷設状況(整備状況)把握(文章化) ・作業道及び間伐の整備計画量の見直し(森林基本図や表)

「自治の森林技術」は市町村の森林施策の執行に必要な技術(事務吏員の方々にも獲得してほしい技術)

「住民の森林技術」は市町村と住民が協働して森林のまちをつくるために必要な技術

WS/HW: ワークショップ方式で作業を進め、メールでやり取りしながらホームワークで完成させる。

森林整備計画作成内容

9	自治の森林技術 ・森林活用	森林を利用する考え方を整理し、森林利用に関する構想力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の総合利用 ・森林ボランティア ・木質バイオマスの新技術 ・間伐材の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の多様な森林利用について構想（文章化） ・森林ボランティアについて理解し、住民との協働による森林保全を構想（文章化） ・木質バイオマスに関する新技術を理解し、管内での開発の可能性を検討（文章化） ・間伐材の利用促進に関して検討（文章化）
10	住民の森林技術 ・交流	住民が自治体と協働して森林を保全する仕組みをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林活動 ・協働の仕組み ・森林の将来像 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民とワークショップを開催し、住民と自治体が協働して森林を保全する仕組みについて検討（仕組みを構築） ・住民とともに森林の将来像について構想（文章化） →森林を活用したまちづくり案を考える。
11	住民の森林技術 ・観察	住民が自主的に活動する技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・定点観察 ・生長量把握 ・植生遷移(植生調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民に実施してほしい活動を演習 ・職員と住民が森林で楽しむことを実践
12	住民の森林技術 ・防災と保全	住民が森林の安全対策にかかわってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林防災の活動 ・森林保全の活動 ・ゴミ不法投棄防止活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が森林の危険箇所を把握し、防災活動を演習 ・森林保全の活動を演習 →住民が森林保全活動に取り込んでもらうことの意義を理解してもらう。 →住民活動の組織化
13	表現方法	森林整備計画を住民に理解してもらえるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現とデザイン ・広報活動 ・県と市町村の関係(住民と主体の原則) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方々が理解しやすい表現を検討(文章の修正、図や絵、写真の追加修正) ・地方自治の本旨に基づく森林整備計画に仕上がっているかを最終確認
14	成果確認	森林整備計画を住民と共有する。	仮題：「森林の現状と将来」	管内の森林の現状と将来についての「シンポジウム」を開催 →パネリストに住民の代表や森林組合、県を加える。
15	スキルアップ	森林担当として住民のためにスキルアップしてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林業務の資格 ・自主的研修法 	→職員が能力をスキルアップすることの必要性和楽しみを理解してもらう。

「自治の森林技術」は市町村の森林施策の執行に必要な技術(事務吏員の方々にも獲得してほしい技術)

「住民の森林技術」は市町村と住民が協働して森林のまちをつくるために必要な技術

WS/HW：ワークショップ方式で作業を進め、メールでやり取りしながらホームワークで完成させる。